

問題の分析(1) 補足: 問題 (困ること) の影響と原因

補足の趣旨: 前回の授業で取り上げた「**授業での居眠りの問題** (テーマ)」を再考する参考資料。

主題: 「夕方の第5講時の授業では、遅刻者は少ないが、居眠る学生がかなり多数いる。」
この「問題」を主題 (テーマ)・課題として、考える。

A. ここには「問題 (困ること) (注目して考えることを要する困難) があるか?それは何か?

本人にとって:

- ・ 居眠ることは、本来望んでしていることではない。(本来は授業/学業)
- ・ 望んではいないが、疲れていて、眠たいからしかたなく居眠ってしまう。
- ・ 居眠りの間とその前後は、授業の内容は朦朧としていて、理解していない。
- ・ 居眠るとその後 (次週、次々週など) の授業がよく分からず、身が入らない。
- ・ 疲れて眠たいのはほとんど毎週である。(授業やバイトなどの生活のリズムがそうになっている)
- ・ 「居眠りはしかたないことだ、放っといてくれ」が、社会の礼儀に反すると思わなくなる。
- ・ 授業に集中せず、内容が身についてないので、その分野の実力が付かない。
- ・ 結局その授業科目全体をあまりよく理解せずに、ぎりぎりでの合格点が精一杯。
- ・ 結局その授業科目を理解できず、試験欠席/レポート不提出などで不合格になる。
- ・ 不合格になると翌年の授業スケジュールが過密になり、また居眠りの悪循環。
- ・ 不合格が積み重なると、望んでないが、留年せざるを得ない。(親の経済負担大)
- ・ 不合格が積み重なると、学習意欲が低下し、休学・退学などが増える。
- ・ 就職活動でも、実力がついてないと内定がなかなか貰えず、長期間を浪費する。

教師にとって:

- ・ 教えようとしているのに、(多数の) 学生に居眠りされると、熱意が減ずる。
- ・ 「教師の授業が分かりにくいから眠たくなる」という学生に対して努力するが報われない。
- ・ 「居眠りが多い授業は、教師の教え方が悪い」という一般的認識が苦痛である。
- ・ 学生の全体的な理解が追いつかないと判断すると、授業のペースを遅くせざるを得ない。
- ・ 授業時間数は限られているから、「遅くする」ことは「内容を削り、程度を下げる」こと。
- ・ 学生全体の理解度が低いと、試験での合格ラインを下げざるを得なくなる。
- ・ 授業を十分に理解していない学生を「合格」にするのは、なさけない限りである。

クラスの他の学生にとって:

- ・ 居眠りが多いと全体の雰囲気だらける。
- ・ 「居眠りしていても単位が取れるのなら、自分だって授業に集中しなくてもかまわない。」
- ・ 居眠りが多い教室では、私語、ケータイ、よそ見、上の空などが蔓延する。

大学全体として:

- ・ 授業をしているのに、(かなりの部分の) 学生に「実力」が身についていかない。
- ・ 科目履修の合格率が低いとやはり問題にせざるを得ない。
- ・ 出席率低下、休学の増加、退学の増加、留年の増加など、悪い面が「数」になって現れる。
- ・ このような状況は、入学志願者の減少を引き起こす。(大学の財政危機になる)
- ・ また、就職面接や採用した企業からの評価が低下する。
- ・ このような、入学者と就職先の両方からの評価の低下は、在学生全体にも不利になる。

以上をみて、「居眠りしている本人だけの問題 (困難) だから、放っておくのがよい」といえるか?

B. 「居眠りが多い」ことの「原因」は何か?

「本人」に主として起因する原因: (居眠りしていない学生と比較考察すればよい)

- ・ 「疲れている」。=> その原因は何か?
 - ・ バイト
 - ・ 部/サークル活動
 - ・ 授業のスケジュール
 - ・ 睡眠不足 夜更かし/不規則
 - ・ 健康管理
- ・ 「興味が湧かない」。=> その原因は何か?
 - ・ 沢山の授業に興味を湧かない
 - ・ この授業にだけ興味を湧かない
- ・ 「集中できない」。=> その原因は何か?
 - ・ 別のことが頭にある
 - ・ 集中力を持続できない
- ・ 「理解できない」。=> その原因は何か?

「教員」と「授業内容」に主として起因する原因: (他の授業などと比較考察すればよい)

- ・ 「授業内容/テーマ」が学生の興味を惹いていない。
- ・ 「授業内容/レベル」が学生の理解と合っていない。(高すぎる/低すぎる)
- ・ 「授業の資料/スライド」などの中身が不適當。(分かりにくい/つまらないなど)
- ・ 「授業のやり方」が適切でなく、学生にとって集中しにくい。

「授業環境」に主として起因する原因: (他の教室/設備/時間帯などと比較考察すればよい)

- ・ 授業環境が劣悪 (大人数教室、黒板が見えない、声が聞こえないなど)
- ・ 授業中のクラスの雰囲気が悪い (私語が多い、ざわついている、集中してないなど)
- ・ 時間帯が眠気を誘う時間 (早朝/昼食後/夕方遅くなど)

これらの「原因」のそれぞれに対して「解決策」は異なる。

学生一人一人、授業一つ一つについて、どの「原因」が主要なものを判断することが必要。
また、いくつかの「原因」を同時に解決していくことも必要である。